

総

務



1 位置と地勢

当組合は、熊本県の北西部に位置し、東西20km、南北30kmで有明海に面する臨海部、これとつながる玉名平野、北東部に広がる中山間部からなっている。

県立公園小岱山を中心に市町数2市4町、面積421.44km²、人口150,779人(令和6年4月1日住民基本台帳)の、有明広域市町村圏である。

消防本部及び玉名消防署は、管内の中心部(東経130度31分、北緯32度55分)に位置し、西部に荒尾消防署を配し、防災治安の維持にあっている。



凡		消 防 本 部
		消 防 署
		分 署
		庁 舎
例		県 界
		市 町 村 界
		県立公園地域

2. 常備消防のあゆみ

年 月 日 沿 革

昭和22年 12月 23日	消防組織法の公布
昭和23年 3月 7日	消防組織法の施行に基づき自治体消防制度発足
昭和26年 1月 1日	荒尾市に「荒尾市消防本部」が発足
昭和38年 11月 1日	玉名市に「玉名市消防本部」が発足
昭和47年 4月 1日	昭和47年3月13日地方自治法第284条第1項の規定に基づき一部事務組合が、熊本県指令地第198号で設置許可されたことにより、消防本部1、消防署2、分署1、消防職員89名の現有組織をもって、2市8町を構成母体とし「有明消防組合」が発足し、消防本部を荒尾消防署内に置き業務を開始した。 組合の初代管理者には玉名市長の橋本二郎氏が就任されるとともに、第1回組合議会が招集され、初代議長に横島町選出議員の沼垣功氏が就任、有明消防組合条例等が議決された。 (条例職員定数115人) 初代消防長に宮川行雄任命される。
4月 11日	消防吏員27名採用
4月 28日	指揮車購入、消防本部に配置
10月 1日	南関分署・天水分署業務開始（仮庁舎）
10月 18日	日本道路公団から救急自動車（2台）の寄贈を受け、南関分署・菊水分駐所へ配置
10月 19日	菊水分駐所業務開始（仮庁舎）
昭和48年 2月 8日	現調車購入、消防本部に配置
3月 8日	天水分署庁舎開庁式
3月 9日	消防専用無線基地局、南関、天水分署に設置
3月 30日	監視用テレビ玉名消防署に設置
4月 1日	職員定数「158人」となる。 消防吏員43名採用
4月 11日	南関分署庁舎開庁式
5月 1日	職員定数「161人」となる。
7月 5日	菊水分駐所庁舎開庁式
7月 10日	日本競輪組合から広報車の寄贈をうけ、消防本部に配置
8月 22日	広報車購入、玉名消防署に配置
9月 25日	屈折はしご付消防ポンプ自動車（スノーケル車）購入、消防本部に配置
10月 25日	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、天水分署に配置

- 昭和48年 12月14日 広報車購入、荒尾消防署に配置
 12月25日 長洲分署業務開始（仮庁舎）
 救急自動車購入、長洲分署に配置
- 昭和49年 2月14日 日立造船株式会社から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け「有明号」と命名し、荒尾消防署に配置
 2月27日 消防専用無線基地局、長洲分署に設置
 4月 1日 職員定数「165人」となる。
 8月13日 長洲分署開庁式
 10月10日 荒尾市大正町「きぬや九番街」建物火災において消火救助活動中の職員1名が殉職
 11月19日 消防ポンプ自動車2台購入、荒尾・玉名消防署に配置
 12月27日 消防本部「玉名市築地468番地」の新庁舎へ移転
- 昭和50年 1月 1日 職員定数「170人」となる。
 1月18日 消防本部庁舎落成式
 4月 1日 菊水分駐所を「分署」に昇格
 職員定数「176人」となる。
 消防吏員13名採用
 4月 7日 三加和分駐所業務開始
 10月 1日 「有明広域消防連絡協議会」発足（関係市町消防団・有明消防組合）
 救急業務協力推進事業実施、荒尾医師会と委託契約締結
 10月27日 消防専用無線基地局、三加和分駐所に設置
 11月27日 管内危険物施設関係者により「熊本県危険物安全協会有明支部」を結成
 12月 8日 破壊装置付屈折放水塔車（スクアート車）購入、荒尾消防署に配置
- 昭和51年 3月 4日 本組合が優良消防機関として、昭和50年度消防庁長官表彰“竿頭綬”を授与される。
 3月 9日 水槽付消防ポンプ自動車を購入、玉名消防署に配置
 5月18日 玉東分駐所業務開始（開庁式）
 9月28日 水槽付消防ポンプ自動車2台を購入、三加和・玉東分駐所に配置
 11月26日 消防無線基地局、玉東分駐所に設置
 12月 7日 日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、荒尾消防署に配置
 12月23日 広報車3台購入、緑丘分署・菊水分署・三加和分駐所に配置
- 昭和52年 2月 1日 大牟田市・荒尾市・南関町及び有明消防組合で消防相互応援協定が締結された。
 4月19日 消防機材輸送車を購入、消防本部に配置
 5月29日 玉名ロータリークラブから広報車の寄贈を受け、「ロータリー号」と命名し、消防本部に配置
- 昭和53年 7月11日 第4回熊本県消防救助技術大会が、本組合本部を開催地として実施された。

- 昭和53年 8月16日 荒尾消防署庁舎開庁式
 9月 1日 消防吏員2名採用
- 昭和54年 3月14日 小型動力ポンプ付水槽車（10 t）を購入、消防本部に配置
 4月 1日 熊本県防災無線が消防本部に設置され運用開始
 4月12日 液化ブタンガス導管理設に伴い、荒尾市・有明消防組合・三井コークス販売（株）において「災害防止協定」が締結された。
 6月 1日 消防吏員3名採用
 都市ガス導管理設に伴い、荒尾市・有明消防組合・九州ガス圧送（株）において「災害防止協定」が締結された。
 7月 2日 都市ガス導管理設に伴い、玉名市・岱明町・横島町・天水町・長洲町・有明消防組合・九州ガス圧送（株）において「災害防止協定」が締結された。
 8月 2日 荒尾市消防団大分団結成式
- 昭和55年 2月18日 玉名消防署救急自動車更新
 3月29日 熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、荒尾消防署に配置
 4月 1日 職員定数「184人」となる。
 5月 1日 消防吏員9名採用
 6月19日 緑丘分署増改築工事完成
 9月 3日 日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け、天水分署に配置
 9月22日 三加和分駐所増築工事完成
 11月19日 玉東分駐所増築工事完成
- 昭和56年 1月 1日 三加和・玉東分駐所救急業務開始
 2月 7日 玉名消防署庁舎開庁式
 11月15日 玉名ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け「玉名ライオンズ号」と命名し、玉名消防署に配置
 12月 4日 長洲分署広報車更新
- 昭和57年 3月23日 消防本部水槽付消防ポンプ自動車・救急自動車更新
 4月 1日 職員定数「192人」となる。
 10月 2日 消防吏員3名採用（補充）
 11月22日 菊水分署庁舎増築工事完成
- 昭和58年 4月 1日 消防吏員8名採用
 三加和・玉東分駐所を「分署」に昇格
 4月 7日 玉東分署救急自動車更新
 6月 1日 消防吏員2名採用
- 昭和59年 1月23日 三加和分署救急自動車更新
 3月23日 玉名消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
 3月31日 長洲分署電動式ホース乾燥塔完成

- 昭和59年 6月 1日 組合産業医委託契約（玉名市築地、馬場内科医院）
- 9月21日 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車「火災保険号」の寄贈を受け長洲分署に配置
- 12月19日 南関分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 昭和60年 3月 2日 菊水分署救急自動車更新
- 3月 4日 南関分署救急自動車更新
- 12月 3日 南関分署・天水分署・玉東分署消防連絡車更新（軽自動車採用）
- 12月14日 菊水分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 昭和61年 3月31日 熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、長洲分署に配置
- 4月 1日 消防吏員5名採用
- 4月12日 玉東分署庁舎移転業務開始
- 12月 5日 荒尾消防署・玉名消防署広報車更新
- 昭和62年 2月27日 荒尾消防署消防ポンプ自動車更新
- 3月17日 荒玉地区幼少年婦人防火委員会、荒玉地区幼年消防クラブ連絡協議会結成
- 5月 6日 消防本部警防車更新
- 9月 8日 第1回屋内消火栓操法競技大会開催（於：玉名市桃田運動公園グラウンド）
- 9月18日 第1回大規模災害救出救護訓練実施（於：岱明町）
- 11月16日 菊水分署電動式ホース乾燥塔完成
- 11月21日 消防本部庁舎外柵工事完成
- 12月16日 玉名消防署消防ポンプ自動車更新
- 昭和63年 1月20日 救助工作車を購入、消防本部に配置
- 3月 5日 緑丘分署救急自動車更新
- 3月 9日 自治体消防制度40周年記念式典が日本武道館において開催された。
- 4月 1日 消防吏員3名採用
- 8月15日 荒尾消防署倉庫新築工事完成
- 9月14日 第1回熊本県消防剣道大会が熊本武道館で開催される。
- 10月22日 消防本部連絡車（総務車）更新
- 10月28日 第1回荒玉地区幼年消防大会を荒尾総合文化センターで開催した。
- 平成元年 1月20日 荒尾消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 1月25日 玉名消防署救急自動車更新
- 4月24日 荒尾消防署救急自動車更新
- 6月21日 人員輸送車（マイクロバス26人乗り）を購入、消防本部に配置
- 7月10日 三加和分署庁舎移転業務開始
- 10月14日 消防吏員1名採用
- 12月18日 三加和分署・菊水分署消防連絡車更新
- 12月21日 荒尾消防署広報車更新

- 平成元年 12月21日 職員定数「200人」となる。
- 平成 2年 4月 1日 消防吏員10名採用
- 10月14日 荒尾ライオンズクラブから救急指導車（荒尾ライオンズ号）及び蘇生法訓練人形の寄贈を受け荒尾消防署に配置
- 平成 3年 2月 7日 日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、天水分署に配置（更新）
- 3月 6日 玉東分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 4月 1日 消防吏員3名採用
- 7月24日 消防本部救助用ボート更新
- 10月 1日 日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け、消防本部に配置（更新）
- 平成 4年 2月26日 三加和分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 4月 1日 消防吏員2名採用
- 6月 1日 消防本部指揮車更新
- 9月 3日 有明消防組合組合章制定
- 10月 9日 緑丘分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 10月15日 玉名消防署梯子自動車配備
- 10月27日 組合設立20周年記念行事開催（於：玉名市）
- 平成 5年 4月 1日 消防吏員4名採用
- 4月 6日 玉名ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け、「ライオンズ号」と命名し、玉名消防署に配置
- 4月13日 消防本部車庫兼体力練成施設（トレーニングセンター）落成式
- 10月30日 三の岳消防無線中継局舎完成
- 11月19日 通信指令施設導入に伴う、消防本部庁舎改築工事完成
- 平成 6年 4月 1日 平成6年3月24日地方自治法第284条第1項の規定に基づく有明広域行政事務組合が、熊本県指令地第88号により設立される。組合の初代代表理事には、玉名市長の松本虎之助氏が就任されるとともに初代議長に菊水町選出議員の辻巽氏が就任された。
- 消防本部警防課に通信指令室を設置し、通信指令施設運用開始
- 消防吏員1名採用
- 6月21日 有明地区危険物安全協会設立20周年記念式典開催（於：玉名市民会館）
- 8月26日 災害弱者緊急通報システムセンター運用開始
- 9月 1日 初代消防長に原口富雄任命される。
- 10月 1日 消防吏員3名採用
- 平成 7年 1月19日 阪神・淡路大震災（平成7年1月17日発生）救援活動のため兵庫県神戸市へ救助隊を派遣
- 3月 2日 高規格救急自動車購入、玉名消防署に配置（更新）
- 4月 1日 消防吏員3名採用

- 平成 7年 6月30日 緊急消防援助隊を発足
- 7月31日 日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、荒尾消防署に配置
- 8月 2日 消防本部予防車更新
- 9月25日 消防本部資機材輸送車更新
- 10月 1日 消防吏員3名採用
- 10月18日 荒尾消防署梯子自動車配備
- 10月21日 救急基金チャリティーゴルフ大会が中九州ゴルフ倶楽部で開催された。
- 11月28日・29日 緊急消防援助隊の合同訓練が東京ガス豊洲工場跡地で実施された。
- 平成 8年 4月 1日 通信指令室を「課」に昇格
- 4月 2日 玉東分署救急自動車更新
- 4月16日 高規格救急自動車購入、荒尾消防署に配置（更新）
- 平成 9年 4月 1日 消防吏員11名採用
- 4月15日 熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、三加和分署に配置（更新）
- 10月26日 組合設立25周年記念行事開催（於：荒尾市）
- 11月11日 南関分署・天水分署・玉東分署連絡車更新
- 平成10年 2月19日 菊水分署救急自動車更新
- 2月24日 南関分署救急自動車更新
- 3月24日 消防本部水槽付消防ポンプ自動車更新
- 消防吏員8名採用
- 11月26日 玉東分署電動式ホース乾燥塔完成
- 消防本部通信指令課広報車更新
- 玉名消防署広報車更新
- 平成11年 2月12日 長洲分署救急自動車更新
- 4月 1日 消防吏員2名採用
- 6月29日 消防本部警防車更新
- 平成12年 4月 1日 消防吏員1名採用
- 4月11日 平成12年度熊本県消防長会春季総会及び第23回熊本県消防職員意見発表会が玉名市で開催された。
- 7月 3日 消防本部総務車更新
- 8月18日 第29回全国消防救助技術大会が熊本市において開催された。
- 10月20日 第8回熊本県幼年消防大会が荒尾総合文化センターにおいて開催された。
- 10月24日 緊急消防援助隊全国合同訓練が東京都江東区で開催された。
- 11月7日・8日 第3回熊本県下消防大規模災害対応訓練が玉名市桃田運動公園において開催された。
- 12月21日 長洲分署水槽付消防ポンプ自動車更新

- 平成13年 2月 9日 緑丘分署救急自動車更新
 4月 1日 消防吏員5名採用
 8月 3日 玉名消防署、南関分署水槽付消防ポンプ自動車更新
 10月18日 横浜市で開催された第15回全国女性消防操法大会に長洲町婦人消防団が出場
 12月26日 消防本部・天水分署救急自動車更新
- 平成14年 4月 1日 職員定数「204人」となる。
 消防吏員7名採用
 6月 3日 有明地区危険物安全協会会長立川博道氏が危険物保安功労者として消防庁長官から表彰された。
 9月 1日 熊本県総合防災訓練が南関町で実施された。
 10月 1日 情報基盤整備事業の一環として、パソコン76台を配備し、仮稼働を開始。
 10月 9日 荒尾消防署広報2号車更新
 11月12日 広域消防発足30周年記念式典及び第7回荒玉地区幼年消防大会を玉名市民会館一帯で開催した。
 荒尾市の長崎武氏から「ミニ消防車」の寄贈を受け、荒尾消防署に配置。
- 平成15年 1月21日 天水分署・菊水分署水槽付消防ポンプ自動車更新
 1月23日 有明地域メディカルコントロール協議会が設立される。
 4月 1日 消防吏員4名採用
 消防ITシステムの本格稼働を開始
 4月25日 玉名消防署梯子車分解整備
 6月20日 第29回熊本県消防救助技術（水上）大会が荒尾市民プールで開催される。
 10月10日 荒尾消防署広報車更新
- 平成16年 2月25日 消防本部小型動力ポンプ付き水槽車（10t）更新
 4月 1日 職員定数「210人」となる。消防吏員8名採用
 荒尾・玉名両消防署の消防ポンプ自動車更新
 8月 1日 当消防本部のホームページを開設
 11月26日 玉名消防署高規格救急車更新
- 平成17年 3月25日 消防本部救助工作車更新
 4月 1日 消防吏員7名採用
 10月 3日 玉名市、岱明町、横島町及び天水町が合併し、新「玉名市」が発足。
 10月17日 予防課防火号更新
 11月 3日 荒尾消防署梯子車分解整備
 12月15日 荒尾消防署高規格救急自動車更新
- 平成18年 2月 1日 荒尾消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
 3月 1日 菊水町及び三加和町が合併し、和水町が発足。

- 平成18年 3月 1日 菊水分署を「和水菊水分署」に、また三加和分署を「和水三加和分署」にそれぞれ名称が変更される。
- 4月 1日 消防吏員4名採用
- 10月 1日 玉名消防署指揮車更新
- 11月24日 第1回熊本県消防広域再編検討会が開催される。
- 平成19年 3月27日 ユニック付き資機材搬送車配備
- 4月 1日 消防吏員13名採用
- 7月 1日 消防本部ホームページをリニューアル開設
- 11月 1日 有明地域住宅防火対策推進協議会が設立される。
- 平成20年 3月26日 荒尾消防署・玉名消防署仮眠室一部改修
- 3月28日 高機能通信指令システム竣工式
- 4月 1日 消防吏員8名採用
- 本部中央機動隊を玉名消防署西分署とし、救助工作車及び資器材搬送車を玉名消防署に配備替えする。玉名消防署梯子自動車分解整備（2回目）
- 5月26日 熊本県消防広域化推進計画が策定される。
- 6月20日 第34回熊本県消防救助技術（水上）大会が玉名市民プールで開催される。
- 12月 1日 消防本部指揮車更新
- 平成21年 3月10日 玉東分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 4月 1日 消防吏員8名採用
- 消防本部に救急課及び警防課と通信指令課を統合し、警防情報指令課を設置
- 8月 3日 南関分署耐震補強工事完了
- 11月19日 玉東分署に高規格救急車を配置
- 12月14日 荒尾消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
和水三加和分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 12月22日 日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け、南関分署に配置
- 12月25日 支援車を新規整備し、消防本部に配置
- 12月28日 玉名消防署高規格救急車更新
- 平成22年 3月19日 荒尾消防署高規格救急自動車更新
- 4月 1日 消防吏員12名採用
- 8月20日 和水三加和分署に高規格救急自動車を配備
- 8月28日 長洲分署に高規格救急自動車を配備
- 9月 3日 和水菊水分署に高規格救急自動車を配備
- 平成23年 1月14日 荒尾消防署梯子自動車分解整備
- 3月14日 東日本大震災（平成23年3月11日発生）災害支援活動のため、緊急消防援助隊として仙台市へ延べ8隊24人を派遣
- 3月29日 荒尾消防署救助工作車更新

- 平成23年 4月 1日 消防吏員11名採用
10月 3日 消防本部予防広報車更新
- 平成24年 4月 1日 消防吏員11名採用
7月12日 九州北部豪雨災害（平成24年7月12日発生）災害支援活動（熊本県市町村消防相互応援協定に基づく）のため、阿蘇市へ延べ15隊67人を派遣
12月17日 天水分署に高規格救急自動車を配備
- 平成25年 2月22日 玉名消防署梯子自動車更新
4月 1日 消防吏員8名採用
10月10日 平成25年度熊本県消防長会秋季総会が荒尾市で開催された。
12月11日 西分署に高規格救急自動車を配備
- 平成26年 1月17日 第11回全国消防長会九州支部消防情報通信シンポジウムが玉名市で開催された。
3月24日 荒尾消防署「荒尾市宮内字松ヶ浦1027番地9」の新庁舎へ移転
また、災害情報指令センターを同消防庁舎3階に併設し運用開始
消防本部配備の支援車及び指令車並びに西分署配備の水槽車を荒尾消防署に配備
替えする。
4月 1日 消防吏員8名採用
消防本部の救急課及び警防情報指令課を消防課及び指令課に改編
11月21日 玉名消防署指揮車更新
12月15日 玉名消防署高規格救急自動車更新
- 平成27年 1月14日 南関分署、和水菊水分署及び和水三加和分署連絡車更新
4月 1日 消防吏員8名採用
12月25日 緑丘庁舎高規格救急自動車更新
- 平成28年 1月28日 玉名消防署に化学消防ポンプ自動車を配備
4月 1日 消防吏員3名採用
4月14日 熊本地震（平成28年4月14日前震発生）（平成28年4月16日本震発生）災害支援
活動（熊本県市町村消防相互応援協定に基づく）のため、益城町・阿蘇市へ延べ
16隊70人を派遣
4月21日 荒尾消防署梯子自動車分解整備（2回目）
- 平成29年 1月27日 長洲分署及び緑丘庁舎水槽付消防ポンプ自動車更新
4月 1日 消防吏員4名採用
7月 5日 平成29年7月九州北部豪雨（平成29年7月5日発生）災害支援活動のため、緊急消
防援助隊として福岡県朝倉市及び大分県日田市へ延べ8隊80人を派遣
11月30日 第60回熊本県救急教育セミナーが荒尾市で開催された。
- 平成30年 3月27日 南関分署水槽付消防ポンプ自動車更新
4月 1日 消防吏員5名採用
- 平成31年 4月 1日 消防吏員5名採用

平成31年	4月 1日	荒尾消防署及び玉名消防署の総務課、警防1課及び警防2課を指導課、警防1課及び警防2課に改編 特別救助隊が荒尾消防署及び玉名消防署に発足
令和元年	8月28日	令和元年佐賀豪雨（令和元年8月27日発生）災害支援活動のため、緊急消防援助隊として佐賀県武雄市及び杵島郡大町町へ延べ2隊24人を派遣
	10月 4日	荒尾消防署指揮車更新
	12月 9日	長洲分署及び南関分署高規格救急車更新
令和2年	3月 2日	荒尾消防署高規格救急車更新
	4月 1日	職員定数「220人」となる。 消防吏員7名採用
	7月 4日	令和2年7月豪雨（令和2年7月3日発生）災害支援活動（熊本県市町村相互応援協定に基づく）のため、水俣市、葦北郡芦北町及び津奈木町、八代市坂本町、人吉市へ延べ22隊82名を派遣
	12月 9日	天水分署及び和水菊水分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	12月16日	荒尾消防署25m級屈折はしご付消防自動車を配備
令和3年	2月 5日	玉名消防署救助工作車更新
	3月 1日	消防本部・玉名消防署「玉名市築地309番地1」の新統合庁舎へ移転 また、ありあけ防災館（防災学習センター）を同消防庁舎1階に併設し運用開始 荒尾消防署配備の支援車及び水槽車を玉名消防署に配備替えする。
	4月 1日	消防吏員10名採用
	7月 1日	長洲分署「長洲町大字清源寺415番地1」の新庁舎へ移転
	10月 1日	南関分署「南関町大字関町8番地1」の新庁舎へ移転
	11月 9日	消防本部に予防連絡車及び荒尾消防署に連絡車を配備
	12月13日	玉名消防署広報車更新
令和4年	1月27日	天水分署及び玉東分署高規格救急車更新
	3月 7日	荒尾消防署及び玉名消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4月 1日	消防吏員7名採用
令和5年	2月28日	玉名消防署及び和水菊水分署高規格救急車更新
	4月 1日	消防職員7名採用
	8月29日	職員定数「230人」となる。
令和6年	2月 5日	荒尾消防署広報車更新
	2月14日	和水三加和分署高規格救急車更新
	4月 1日	消防吏員6名採用

歴代管理者並びに歴代代表理事
有明消防組合

歴代	氏名	就任年月日	在職期間	備考
初代	橋本 二郎	昭和47年4月1日	2年	玉名市長
二代	橋本 二郎	昭和49年4月29日	3年	玉名市長
三代	鴻江 勇	昭和52年5月24日	3年8ヶ月	荒尾市長
四代	鴻江 勇	昭和56年2月17日	3年11ヶ月	荒尾市長
五代	鴻江 勇	昭和60年2月13日	1年11ヶ月	荒尾市長
六代	松本 虎之助	昭和62年2月3日	9ヶ月	玉名市長
七代	松本 虎之助	昭和62年11月4日	3年11ヶ月	玉名市長
八代	松本 虎之助	平成3年10月30日	2年5ヶ月	玉名市長

有明広域行政事務組合

初代	松本 虎之助	平成6年4月1日	1年6ヶ月	玉名市長
二代	松本 虎之助	平成7年10月30日	4年	玉名市長
三代	北野 典爾	平成11年10月30日	3年2ヶ月	荒尾市長
四代	吉田 勝也	平成15年1月18日	1年	天水町長
五代	高崙 哲哉	平成16年1月18日	1年	玉名市長
六代	高崙 哲哉	平成17年1月18日	2ヶ月	玉名市長
七代	前畑 淳治	平成17年4月1日	2年	荒尾市長
八代	島津 勇典	平成19年4月1日	2年	玉名市長
九代	前畑 淳治	平成21年4月1日	2年	荒尾市長
十代	高崙 哲哉	平成23年4月1日	2年	玉名市長
十一代	前畑 淳治	平成25年4月1日	1年9ヶ月	荒尾市長
十二代	高崙 哲哉	平成27年1月18日	2年10ヶ月	玉名市長
十三代	前田 移津行	平成29年11月13日	2年4ヶ月	玉東町長
十四代	浅田 敏彦	令和2年4月1日	2年	荒尾市長
十五代	藏原 隆浩	令和4年4月1日	2年	玉名市長
十六代	浅田 敏彦	令和6年4月1日	現在	荒尾市長

歴代議長
有明消防組合

歴代	氏名	就任年月日	在職期間	備考
初代	沼垣 功	昭和47年4月1日	3年2ヶ月	横島町議員
二代	浦田 正行	昭和50年6月7日	2年4ヶ月	長洲町議員
三代	福山 深	昭和52年11月2日	1年8ヶ月	三加和町議員
四代	多田 隈 強	昭和54年7月17日	2年8ヶ月	南関町議員
五代	多田 隈 強	昭和57年3月31日	3年11ヶ月	南関町議員
六代	近延 正	昭和61年3月27日	10ヶ月	菊水町議員
七代	田原 久	昭和62年2月25日	4ヶ月	三加和町議員
八代	磯野 肇	昭和62年7月21日	2年5ヶ月	長洲町議員
九代	村上 康弘	平成元年12月26日	1年7ヶ月	横島町議員
十代	戸上 雄之	平成3年7月26日	1年11ヶ月	南関町議員
十一代	村上 康弘	平成5年7月23日	8ヶ月	横島町議員

有明広域行政事務組合

初代	辻 翼	平成6年4月1日	4ヶ月	菊水町議員
二代	磯野 肇	平成6年8月1日	3年	長洲町議員
三代	下田 文生	平成9年8月8日	1年9ヶ月	玉東町議員
四代	江田 就知	平成11年5月29日	2年4ヶ月	岱明町議員
五代	仲田 広則	平成13年10月8日	4ヶ月	三加和町議員
六代	福山 精一	平成14年3月4日	1年2ヶ月	三加和町議員
七代	森川 和博	平成15年5月30日	9ヶ月	横島町議員
八代	柴尾 俊二	平成16年3月4日	1年11ヶ月	南関町議員
九代	荒木 一	平成18年2月17日	1年3ヶ月	玉東町議員
十代	林野 彰	平成19年5月30日	2年3ヶ月	玉名市議員
十一代	清水 健世	平成21年9月25日	1年8ヶ月	荒尾市議員
十二代	福嶋 譲治	平成23年6月3日	2年1ヶ月	玉名市議員
十三代	菰田 正也	平成25年7月31日	1年10ヶ月	荒尾市議員
十四代	小屋野 幸隆	平成27年6月5日	2年1ヶ月	玉名市議員
十五代	菰田 正也	平成29年7月27日	1年10ヶ月	荒尾市議員
十六代	江田 計司	令和元年5月30日	2年2ヶ月	玉名市議員
十七代	菰田 正也	令和3年7月29日	1年9ヶ月	荒尾市議員
十八代	前田 裕二	令和5年6月2日	2ヶ月	荒尾市議員
十九代	松井 一也	令和5年7月31日	現在	長洲町議員

歴代消防長
有明消防組合

歴代	氏名	就任年月日	在職期間	備考
初代	宮川 行雄	昭和47年4月1日	2年1ヶ月	
二代	福島 正義	昭和49年5月1日	2年	
三代	高見 松義	昭和51年5月1日	3年	
四代	荒木 光次	昭和54年5月1日	2年	
五代	村上 英壯	昭和56年5月11日	2年1ヶ月	
六代	積 貞夫	昭和58年6月1日	1年	
七代	大草 武敏	昭和59年6月1日	10ヶ月	
八代	西川 義方	昭和60年4月1日	5年8ヶ月	
九代	古財 忠男	平成2年12月28日	3ヶ月	
十代	伊藤 光政	平成3年4月1日	1年	
十一代	岡本 貞夫	平成4年4月1日	1年	
十二代	古沢 安治	平成5年4月1日	1年	

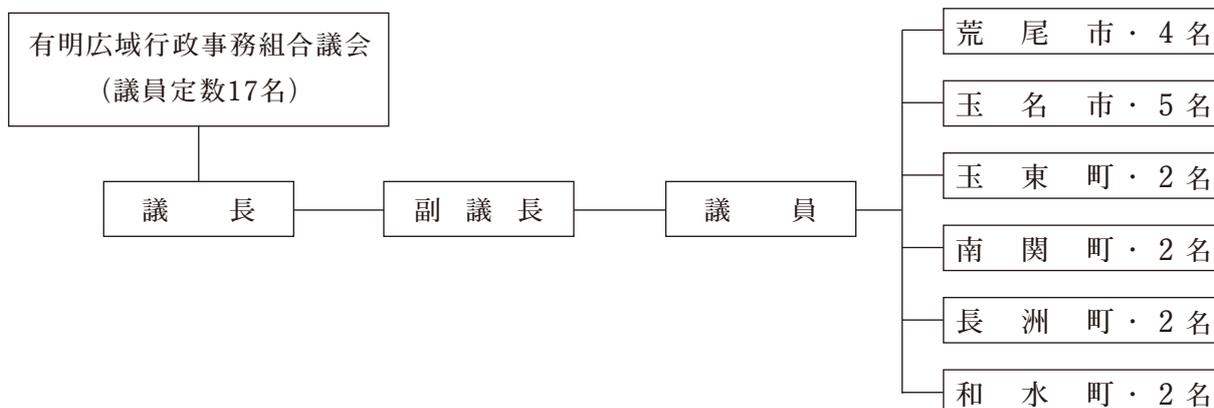
有明広域行政事務組合

初代	原口 富雄	平成6年4月1日	1年	
二代	緒方 昭英	平成7年4月1日	1年7ヶ月	
三代	松浦 勝婦	平成8年11月1日	5ヶ月	
四代	上村 公弘	平成9年4月1日	1年	
五代	三井 信博	平成10年4月1日	2年	
六代	朝岡 宣昭	平成12年4月1日	2年	
七代	西川 剛	平成14年4月1日	6年	
八代	堀川 一信	平成20年4月1日	1年	
九代	深草 良亮	平成21年4月1日	3年	
十代	中村 精也	平成24年4月1日	1年	
十一代	宮本 裕知	平成25年4月1日	4年	
十二代	吉田 耕之	平成29年4月1日	3年	
十三代	堀 幸夫	令和2年4月1日	1年	
十四代	村上 博恭	令和3年4月1日	2年	
十五代	村上 和浩	令和5年4月1日	現在	

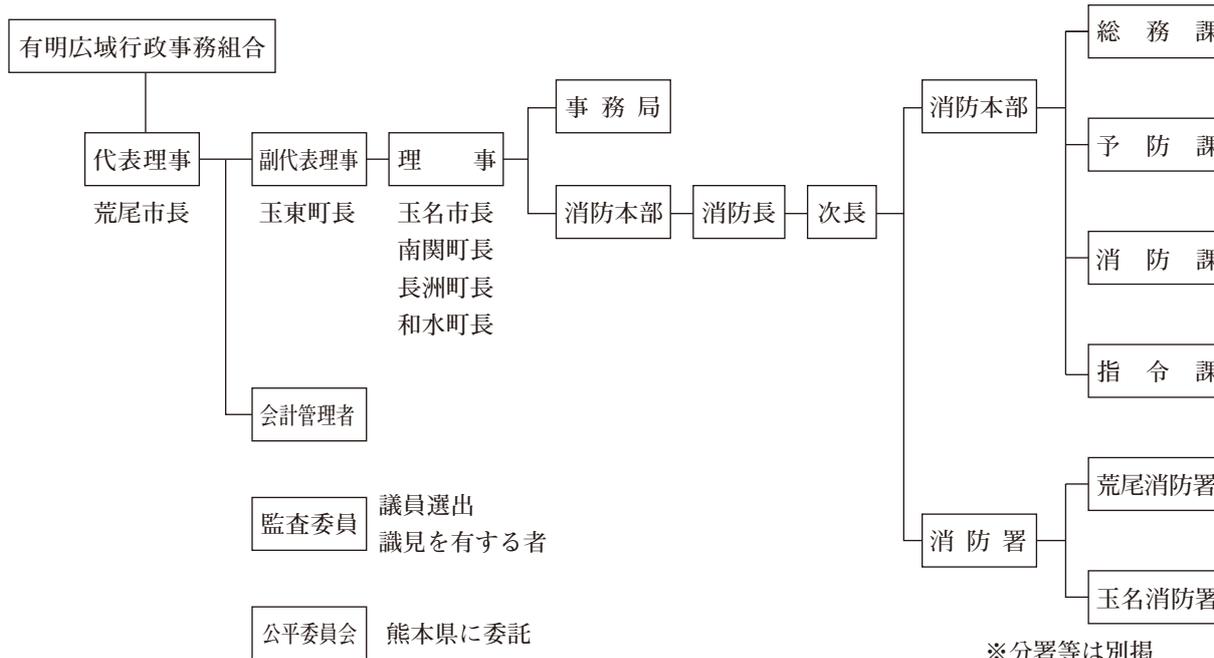
3. 組合構成市町の面積・人口・世帯数

	令和2年度国調			R6. 4. 1 現在住基調	
	面積	人口	世帯数	人口	世帯数
荒尾市	57.37	50,832	20,783	49,394	24,038
玉名市	152.60	64,292	25,278	63,029	28,510
玉東町	24.33	5,045	1,814	5,181	2,117
南関町	68.92	8,979	3,503	8,782	4,062
長洲町	19.44	15,372	6,434	15,334	7,402
和水町	98.78	9,342	3,416	9,059	3,766
計	421.44km ²	153,862人	61,228世帯	150,779人	69,895世帯

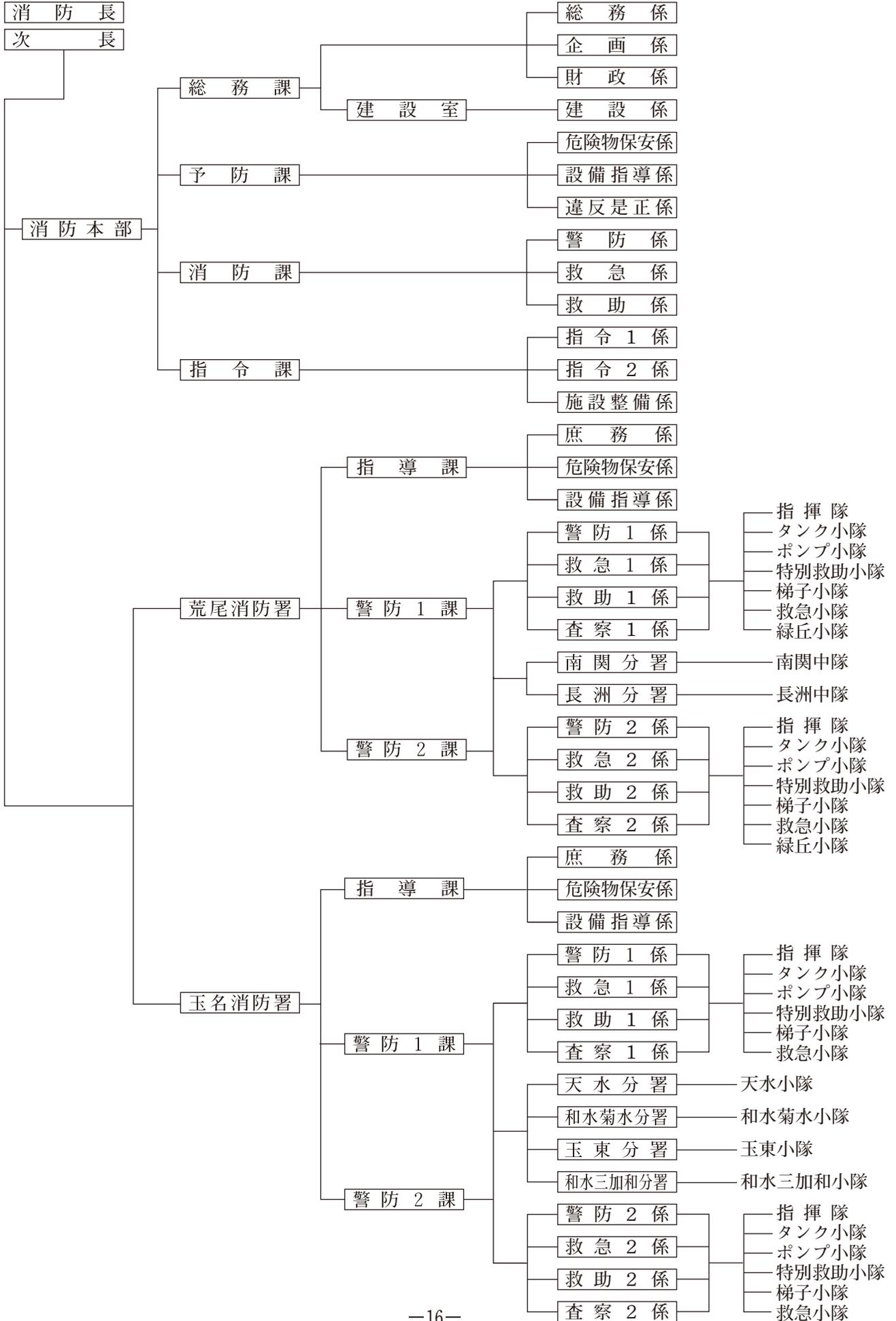
4. 議会組織



5. 組合組織



6. 消防機構



7. 消防力の現勢

(令和6年4月1日現在)

区 分		基 準	現 有	過・不足△	充 足 率 %
署 所 数		9	9	0	100.0
消 防 職 員	警 防 要 員	210	173	△37	82.4
	予 防 要 員	35	※11(21)	△24	31.4
	通 信 員	10	12	2	120.0
	庶務の処理等の人員	*20	26	6	130.0
	計	275	222	△53	80.7
ポ ン プ 車	実 動 車	10	10	0	100.0
	予 備 車	2	2	0	100.0
	計	12	12	0	100.0
特 殊 車	指 揮 車	2	2	0	100.0
	は し ご 車	2	2	0	100.0
	化 学 車	1	1	0	100.0
	水 槽 車	1	1	0	100.0
	救 助 工 作 車	2	2	0	100.0
	計	8	8	0	100.0
救 急 車	実 動 車	10	10	0	100.0
	予 備 車	2	2	0	100.0
	計	12	12	0	100.0

展示

※ 予防要員：（ ）内は警防要員と兼務した総予防要員を示す。

* 他の欄に含まれない人員についてはこの欄で計上。

8. 消防庁舎の現況

(令和6年4月1日現在)

	所在地	構造	面積
消防本部	〒865-0065 玉名市築地309番地1 TEL0968・71・0119 FAX0968・74・0030	鉄筋コンクリート造 3階建	建面積 2,127.15㎡ 延面積 3,919.55㎡
ありあけ防災館 (消防本部庁舎内)	TEL0968・74・0119 FAX0968・73・8446		
荒尾消防署	〒864-0004 荒尾市宮内字松ヶ浦1027番地9 TEL0968・63・1121 FAX0968・63・1120	鉄筋コンクリート造 3階建	建面積 1,764.37㎡ 延面積 3,128.10㎡
緑丘庁舎	〒864-0015 荒尾市平山字皮籠田2270番地 TEL0968・66・0072 FAX0968・66・0108	補強コンクリートブロック造 平屋建	建面積 176.0025㎡
南関分署	〒861-0803 玉名郡南関町 大字関町8番地1 TEL0968・53・0309 FAX0968・53・0315	鉄筋コンクリート造 2階建	建面積 442.16㎡ 延面積 567.72㎡
長洲分署	〒869-0105 玉名郡長洲町 大字清源寺415番地1 TEL0968・78・0145 FAX0968・78・0185	鉄筋コンクリート造 2階建	建面積 541.79㎡ 延面積 511.2㎡
玉名消防署 (消防本部庁舎内)	〒865-0065 玉名市築地309番地1 TEL0968・73・7117 FAX0968・73・7118		
天水分署	〒861-5403 玉名市天水町部田見1815番地1 TEL0968・82・2495 FAX0968・82・3242	鉄筋コンクリート造 2階建	建面積 228㎡ 延面積 368㎡
和水菊水分署	〒865-0126 玉名郡和水町前原269番地1 TEL0968・86・2207 FAX0968・86・2213	鉄筋コンクリート造 平屋建	建面積 200.475㎡
		木造モルタル 平屋建(会議室)	延面積 38.88㎡
玉東分署	〒869-0311 玉名郡玉東町 大字二俣字鍛冶場101番地 TEL0968・85・3519 FAX0968・85・3567	鉄骨造 平屋建	建面積 241.2㎡
和水三加和分署	〒869-0913 玉名郡和水町板楠1740番地3 TEL0968・34・2600 FAX0968・34・2617	鉄骨ブロック造 平屋建	建面積 242.77㎡

9. 消防職員の配置状況

(令和6年4月1日現在)

区 分	消防正監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	事務吏員	計
消 防 本 部	消 防 長	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	次 長	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	総 務 課	0	0	1	2	3	0	1	2	10
	予 防 課	0	0	1	1	2	3	0	0	7
	消 防 課	0	0	1	2	1	2	0	0	6
	指 令 課	0	0	1	3	3	2	5	0	14
	派遣・入校等	0	0	0	0	0	1	1	5	7
	計	1	1	4	8	9	8	7	7	1
荒 尾 消 防 署	荒尾消防署	0	0	1	6	11	7	10	6	41
	緑丘庁舎	0	0	0	1	2	3	2	2	10
	長洲分署	0	0	0	3	3	3	4	4	17
	南関分署	0	0	0	3	2	4	4	4	17
	計	0	0	1	13	18	17	20	16	0
玉 名 消 防 署	玉名消防署	0	0	1	7	11	10	12	10	51
	天水分署	0	0	0	1	2	3	2	2	10
	和水菊水分署	0	0	0	1	2	3	2	2	10
	和水三加和分署	0	0	0	1	2	3	3	1	10
	玉東分署	0	0	0	1	2	3	2	2	10
	計	0	0	1	11	19	22	21	17	0
合 計	1	1	6	32	46	47	48	40	1	222

10. 消防吏員の年令・勤務年数調

(令和6年4月1日現在)

消 防 吏 員 （ 221 人）	年 齢 別									平均年齢
	18才 ┆ 20才	21才 ┆ 25才	26才 ┆ 30才	31才 ┆ 35才	36才 ┆ 40才	41才 ┆ 45才	46才 ┆ 50才	51才 ┆ 55才	56才 以上	
	8	31	19	38	34	34	26	16	15	37.90
	勤 務 年 数 別									
	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上			
	35	22	46	37	23	30	28			

11. 消防吏員の特殊技能

(令和6年4月1日現在)

種 別	階 級	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
大 型	2 種	0	0	0	1	1	0	0	0	2
大 型	1 種	1	1	4	27	28	21	13	0	95
中 型	免 許 (限定解除)	0	0	0	1	16	29	37	10	93
特 殊	免 許	0	0	0	3	3	2	3	0	11
衛 生	管 理 者	0	0	1	2	4	3	0	0	10
救 急	救 命 士	0	0	3	9	13	22	12	5	64
救 急	隊 資 格 者	1	0	3	23	33	27	43	9	139
救 急	法 指 導 員 (日赤)	0	0	0	3	0	1	0	0	4
幼 児	安 全 法 指 導 員 (日赤)	0	0	0	1	0	0	0	0	1
潜	水 士	1	1	1	17	15	13	8	5	61
危 険	物 免 許 (甲・乙)	0	0	5	23	45	36	21	7	137
消 防	設 備 士 (甲・乙)	0	0	3	10	22	4	2	0	41
航 空	特 殊 無 線 技 士	0	0	1	0	0	0	0	0	1
主 任	無 線 従 事 者	0	0	0	3	5	1	0	0	9
第 一	級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	0	0	0	2	1	0	0	0	3
第 二	級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	1	1	5	24	30	3	3	0	67
第 三	級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	0	0	0	2	15	40	26	8	91
小 型	船 舶 操 縦 士	0	0	2	6	9	13	1	0	31
酸 素	欠 乏 危 険 作 業 主 任 者 (第2級)	0	0	1	6	10	1	1	0	19
高 圧	ガ ス 作 業 主 任 者	0	0	0	0	0	1	0	0	1
玉 掛	技 能 者	1	1	5	18	12	2	5	0	44
移 動	式 ク レ ー ン	0	0	0	6	18	18	11	0	53
ガ ス	溶 接	0	0	1	2	5	0	1	0	9
劇 毒	物 取 扱 者	0	0	0	0	2	1	0	0	3
火 薬	取 扱 主 任 者	0	0	0	1	0	0	0	0	1
電 気	関 係	0	0	0	1	3	2	4	1	11
特 定	化 学 物 質 等 作 業 主 任 者	0	0	0	0	1	1	1	0	3
予 防	技 術 検 定 (危 険 物)	0	0	0	4	9	10	11	0	34
予 防	技 術 検 定 (消 防 用 設 備 等)	0	0	0	5	9	10	8	0	32
予 防	技 術 検 定 (防 火 査 察)	0	0	0	6	17	26	22	0	71
予 防	技 術 資 格 者 (消 防 用 設 備 等 専 門 員)	1	1	0	4	7	5	0	0	18
予 防	技 術 資 格 者 (危 険 物 専 門 員)	1	1	1	3	6	5	0	0	17
予 防	技 術 資 格 者 (防 火 査 察 専 門 員)	1	1	0	4	8	9	1	0	24

12. 消防職員の教養研修実施状況

(令和5年度)

機関名	教育機関	期間	人員	
救急救命 研修所	救急救命東京研修所(第64期)	4.5~9.29(177日間)	1名	
	令和5年度感染防止対策強化研修	5.10~5.16(7日間)	1名	
	指導救命士研修	7.13~8.25(45日間)	1名	
	救急救命九州研修所(第42期)	9.1~3.11(193日間)	1名	
熊本県 消防学校	初任	初任科(第68期)	4.6~9.15(163日間)	6名
	専科	救助科(第44期)	10.19~11.17(30日間)	4名
		警防科	11.27~12.8(12日間)	2名
		火災調査科	12.11~12.22(12日間)	4名
		救急科(第32期)	1.9~3.1(53日間)	7名
		危険物科	3.4~3.8(5日間)	2名
	幹部	中級幹部科	10.2~10.11(10日間)	2名
	特別	実火災訓練研修(HT研修)	1.24~1.26(3日間)	6名
		模擬火災訓練研修(AFT研修)	3.5~3.7(3日間)	6名
		警防隊員研修	3.11~3.15(5日間)	2名
全国消防長会 九州支部	令和5年度消防長研修会(鹿児島市)	11.21~11.22(2日間)	2名	
	令和5年度九州地区大規模災害対応実務研修(福岡市)	11.25~11.26(2日間)	11名	
	令和5年度九州地区予防実務研修(福岡市)	1.15~1.26(12日間)	1名	
熊本県 消防長会	令和5年度熊本県消防長会予防例研究会(熊本市)	10.20(1日間)	2名	
	令和5年度熊本県消防長会女性消防職員研修会(熊本市)	11.24(1日間)	3名	
	令和5年度熊本県消防長会総務研修(熊本市)	2.19(1日間)	4名	
その他	令和5年度災害共済事務担当者研修会(熊本市)	6.1(1日間)	2名	
	熊本県消防設備協会研修会(熊本市)	5.30(1日間)	4名	
	令和5年度メンタルヘルスマネジメント実践研修会(熊本市)	6.21(1日間)	2名	
	健康管理監督者セミナー(熊本市)	7.18(1日間)	1名	
	令和5年度市町村等職員IT研修(熊本市)	9.7・9.12・10.4~10.5(4日間)	1名	
	令和5年度消防職員安全衛生管理研修会(福岡市)	9.21~9.22(2日間)	4名	
	人事評価実務研修(熊本市)	10.23~10.24(2日間)	5名	
	ハラスメント未然防止力向上研修	11.15(1日間)	3名	

13. 消防予算及び構成市町別負担金内訳

(1) 令和6年度消防予算

ア 歳入

(単位：千円)

区分 \ 年度	令和6年度	令和5年度	増減
分担金及び負担金	2,218,113	2,149,351	68,762
使用料及び手数料	2,780	2,786	△6
国庫支出金	1	1	0
県支出金	4,794	5,250	△456
財産収入	2	2	0
寄附金	1	1	0
繰入金	54,390	70,346	△15,956
繰越金	1	1	0
諸収入	8,209	7,030	1,179
組合債	609,300	375,700	233,600
歳入合計	2,897,591	2,610,468	287,123

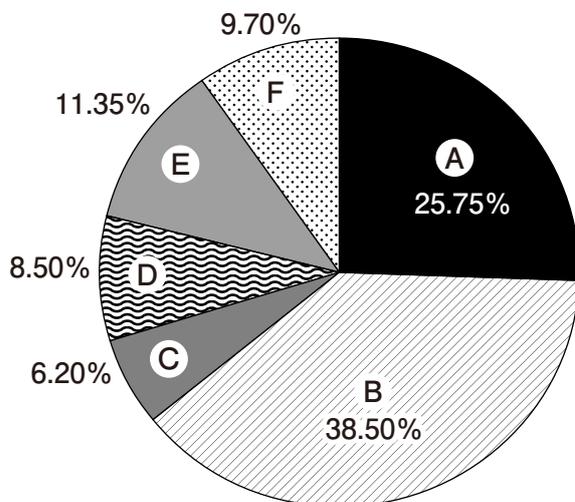
イ 歳出

(単位：千円)

区分 \ 年度	令和6年度	令和5年度	増減
消防費	2,682,256	2,336,110	346,146
公債費	212,335	271,358	△59,023
予備費	3,000	3,000	0
歳出合計	2,897,591	2,610,468	287,123

(2) 令和5年度構成市町別負担金内訳

(単位：千円)



A 荒尾市	571,129 (25.75%)
B 玉名市	853,298 (38.50%)
C 玉東町	137,691 (6.20%)
D 南関町	189,313 (8.50%)
E 長洲町	251,513 (11.35%)
F 和水町	215,169 (9.70%)
計	2,218,113